

## Archive: アーカイブ

私たちのミッションは、デジタル技術で記憶を記録にとどめ、過去と現在を未来へと繋げるお手伝いをする事です。記憶を記録としてとどめ、後世に伝え残す取り組みをアーカイブといいます。私たちはデジタル技術を用いて、過去と現在を未来へ繋げるお手伝いをする活動に取り組んでいます。地域の記憶から企業や団体の記憶、家族や個人の記憶など様々な記憶を大切な財産としてデジタルで記録し残し伝えていきましょう。

## Concept: コンセプト

私たちが求めてきたのは、最新の技術に依存することよりも持続可能なデジタルアーカイブのスタイルでした。

情報化が進歩し、新しい技術が数多く登場するインターネットの宇宙。

その中において、いつまでも、どこまでも、何代もあとの子供たちにも、伝え残せるデジタルアーカイブをみんなの手でつくっていく。私たち地域資料デジタル化研究会は、そんな社会的な運動が必要だと考えています。特定のウェブDBシステムや特定のプラットフォームに依存することのないデジタルアーカイブのかたちこそ、これからの持続可能性を求める時代にふさわしいものではないかと考えています。

## サステナブル・アーカイブ・ギャラリーあまのがわ

( <https://amanogawaginga.jp/> )

は持続可能なデジタルアーカイブたちが、銀河系の星々のように渦をまきながら継続できる場所として開設いたします。

持続可能なデジタルアーカイブのかたちはとてもシンプルです。その本質は、マスターとなる画像や映像や音声などのメディアデータとその内容を記した目録データの保存と、共有のための生成型静的ウェブでできています。この生成型静的ウェブのフォルダはどんなウェブサーバに対してもフォルダをまるごとコピーするだけで動作します。加えてハードディスクドライブやUSBメモリの中であってもオフラインでも閲覧することができます。

デジタルアーカイブはお金がかかる、デジタルアーカイブはお金を払い続けると維持できないという思い込みから解放されませんか？そして私たちと一緒に、この技術的には少し古くて、それでいて持続可能なデジタルアーカイブづくりという新しいムーブメントに参加してみませんか？

### デジタルアーカイブによる記憶の共有が共同体の絆を深める手段です

- ・ 個人・家族のデジタルアーカイブ
  - ・ 地域コミュニティのデジタルアーカイブ
  - ・ 資料館のデジタルアーカイブ
  - ・ 博物館のデジタルアーカイブ
  - ・ 図書館のデジタルアーカイブ
  - ・ 企業・団体のデジタルアーカイブ
  - ・ 自治体のデジタルアーカイブ
- などなど。

### 費用概算

資料の点数や状態などを判断してお見積もりをいたしますが、以下はおおよその目安としての金額です。

100点程度	およそ32万円程度
500点程度	およそ52万円程度
1,000点程度	およそ78万円程度
2,000点程度	およそ145万円程度

マスターデータ、目録情報、生成型静的ウェブ、納品パッケージ等を含んでいます。

サステナブル・アーカイブ・ギャラリーあまのがわ

特定非営利活動法人地域資料デジタル化研究会

〒406-0041

山梨県笛吹市石和町東高橋133

Phone: 090-2491-4085

TEL: 0551-45-8906 (八ヶ岳コモンズ) FAX: 0551-45-8905 (八ヶ岳コモンズ)

※八ヶ岳コモンズは、旧北杜市立高根清里小学校廃校跡地有効活用事業です。

**Digi-KEN**  
特定非営利活動法人地域資料デジタル化研究会

## 持続可能なデジタルアーカイブを求めた デジタルアーカイブのスタイル



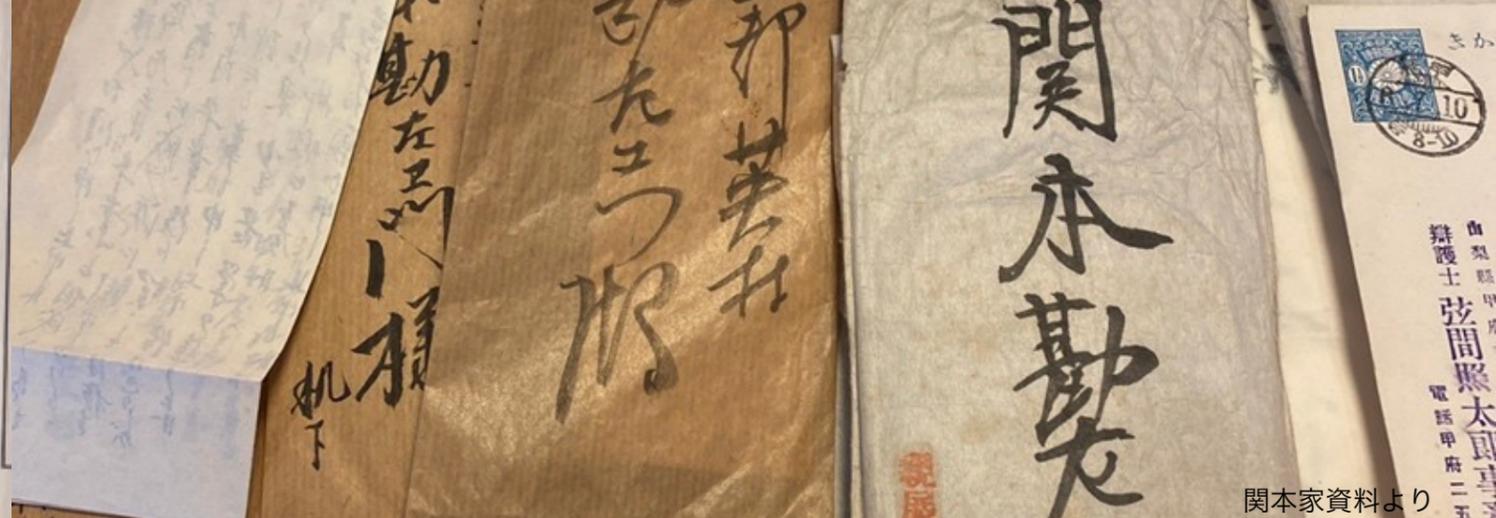
何のためのデジタルアーカイブなのか？学術・文化的な側面からみれば後世に記録を残すこと…と答えが返ってきますが、私たちは民間のNPO法人としても少し身近な目的を考えています。デジタルアーカイブによる記憶の共有は、いわゆる世代間ギャップを超えて思い出をともにすることができます。先輩者の言葉からだけでなく視覚的にも発足時・創業時から今日に至るまでの記憶を共有する機会をつくること。そこに二人以上の人がいればコミュニティが生まれます。家族や地域、会社や団体などにおいて思い出の共有は結びつきを強くすると考えています。個人にとっても過去の自分と向き合う機会は自己肯定感を高めます。同様に思い出の共有がコミュニティプライドを高めるものと信じています。

この機会にぜひ、このような目的をもってデジタルアーカイブづくりに取り組んでみてはいかがでしょうか？私たちはハンズオンでいっしょに伴走しながらお手伝いいたします。

**Digi-KEN**  
特定非営利活動法人地域資料デジタル化研究会



関本家資料より



関本家資料より



目録規則の作成

利用規則の作成

## 資料整理

お預かりした資料を、一点一点丁寧に整理します。資料生作業は、それぞれの資料を保存袋に入れて整理し、資料の名称や内容、年代や地域などを調査しながら、目録情報の基本的なデータベースを作成します。その上で、各資料のファイル名や保存袋名称などを確定し、次のデジタル化作業を効率よくすすめるための準備を行います。この時点で資料の総数や作業工程を確定し、かかる費用の詳細や納品までのスケジュールを確定いたします。



デジタル化仕様書の作成

デジタル化マニュアルの作成

## デジタル化

各資料のデジタル化作業工程は、対象となる資料によって異なります。紙や写真のような平面的な資料は、イメージスキャナを使ったデジタル化作業と、デジタルカメラ撮影によるデジタル化作業があります。録音テープなどの音声資料や、8ミリフィルムやビデオテープなどの映像資料のデジタル化も対応いたします。さらに立体物の3Dデータや建築物の室内などのメタバース（VRなど）にも対応できるデジタル技術を日々研究開発中です。

関本家資料デジタルアーカイブ  
<https://amanogawaginga.jp/sekimotoke/>



## 生成型静的HTML

既存のデジタルアーカイブの多くが、特定のデジタルアーカイブシステムに依存していますが、持続可能なデジタルアーカイブを求めた結果として、私たちは静的なHTMLファイルを自動生成させる方法でウェブサイトを構築しています。基本となるテンプレートを作成し、目録情報を必要箇所に差し込みながらHTMLファイルを自動生成し保存袋ページや個々の資料詳細ページを作成。リストは場所、時間、名称などから探すことができます。



## 納品／資料保管

できあがった、マスターメディアファイルと目録情報、およびウェブサイトデータなどをUSBメモリに保存して納品パッケージを作成してお渡しいたします。USBメモリは内容がわかるタグと、Type-C用のアダプタもセットにしています。ご希望があれば、現物の資料を保存袋に入れた状態でご返却することもできますし、私ども保管施設にてお預かりすることも可能です（有料）。ウェブサイトは、サステナブル・アーカイブ・ギャラリーあまのがわ サーバに保存して公開することもできますが、お客様のウェブサーバに保存することも可能です。



### ジャパンサーチとの連携

国立国会図書館が運営しているジャパンサーチは、国内の様々な機関が構築しているデジタルアーカイブを横断的に検索できるサイトです。サステナブル・アーカイブ・ギャラリーあまのがわに掲載するデジタルアーカイブもジャパンサーチとの連携がはかれるように働きかけています。ジャパンサーチとの連携にはつなぎ役となる団体が必要とされており、2023年8月現在においては山梨県内につなぎ役となる機関がないため、まだ連携はできていません。

### デジタルアーカイブの持続性について

特定のサーバシステムに依存するデジタルアーカイブは、開発費などの初期費用や年間／月々の維持管理料の負担が大きく、デジタルアーカイブを開設したものの持続させるには相応の経費がかかります。サステナブル・アーカイブ・ギャラリーあまのがわは、すべて静的なHTMLファイルで構築するため、維持管理にかかる費用を削減するだけでなく、サーバ転居やオフラインでの閲覧も可能となります。